

大会開催に向けたガイドライン (新型コロナウイルス感染拡大防止対策)

2020年10月4日
千葉県インディアカ協会

本ガイドラインは、新型コロナウイルス対策に関するスポーツ庁、日本スポーツ協会から示された各種の指針や提言を踏まえてインディアカ競技における大会開催に当たっての基準と開催時における感染拡大予防の為に留意点について纏めたものです。

本ガイドラインはコロナ感染状況等に応じて、適宜見直しを行うものとする。

大会参加者の条件

- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいないこと。
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がないこと。
- ・大会当日、発熱・咳・のどの痛み等の感染症の疑いがある症状がないこと。
- ・インディアカ大会中の事故やコロナ感染に伴う保証は、自己責任に於いて参加するものとする。

1.大会開催の可否

- (1)大会開催の可否は1~2ヶ月前までには決定し、通知等を行うこと。
開催予定でも直近に周辺地域や利用施設の環境（コロナ感染状況）に変化があり大会開催に不安事項が発生した場合は、速やかに中止の判断をして参加関係者への通知を行う。

2.大会開催の条件

- (1)当面は、大会参加人数を制限する為に体育館使用可能コート数を1/2以下としてください。
よって、参加チーム数の制限やスタッフ数、応援者等にも配慮願います。
- (2)当面は、各協会傘下の会員のみで大会を開催し、運営面や安全性について配慮してください。
運営上に於いて、チーム数の調整で近隣協会へのチーム参加要請する場合又は、参加要請があった場合は、最低限のチーム数で調整してください。

3.事前準備

- (1)利用者リスト
主催者は、大会参加者登録用紙を準備し参加者全員の必要事項（氏名、電話番号）を記載し最低2ヶ月間は保存する。（参加者がコロナ発症した際の個人及び、関連機関への連絡等に使用）
又、同様に利用施設への参加者リストも提出すること。
- (2)感染防止対策用具
主催者：①非接触式体温計、②接触式体温計、③消毒セット（コロナ対応消毒液、ペーパータオル、除菌シート等）④電子ホイッスル、⑤フェイスガード、⑥使い捨て手袋、⑦予備マスク
チーム：①消毒セット（コロナ対応消毒液、ペーパータオル、除菌シート等）、②予備マスク、③メンバー表（チーム関係者全員を記載した大会申し込み用紙）
- (3)体育館の使用用具（ポール、ネット、審判台、得点板、モップ、観覧席の椅子等）を消毒する場合は、利用施設の感染症対策基準を確認して、必要な用具等を準備してください。

4.入館および受付

- 【入館】入館方法については、利用施設の感染症対策基準を順守すること。
- (1)入館入口付近に消毒液（コロナ対応）を設置すること。
- (2)入館者全員の検温（非接触式体温計）を実施（スタッフ）すること
- ・検温は施設入口付近で行い、37.5℃以下であることを確認し入館許可すること。
 - ※37.5℃を超えた場合は、別室にて接触式体温計で測定し参加可否の判断をする（37.5℃以上の場合は入館拒否としてください）

・検温結果は入館者に伝え、キャプテンはチーム参加者全員の検温結果を記載したメンバー表を受付時に提出すること。

【受付】受付担当者は、感染防止対策（マスク、手袋、フェイスガード等）を使用すること。

- (1) 受付時の密を防止するため、1 m以上の間隔を空けること（間隔線などを事前に引く）
- (2) キャプテンは、メンバー表にチーム関係者全員（応援者・子供含む）の必要事項と検温結果を追記して受付に提出すること。
- (3) キャプテンは、チーム内に受付時間までに入館できないメンバーがいた場合は、スタッフに報告し入館時は忘れずに検温を実施すること。
※メンバー表に記載されていない場合は、入館出来ませんので注意願います。
※参加費は、お釣りの無いようにご協力お願いします。

5. 体育館内での注意事項

- (1) 使用施設の感染症対策基準を順守すること。
- (2) 選手は試合中以外では、マスクを着用すること。観戦者等は、常にマスクを着用すること。
- (3) トイレ内の複数の参加者が触れる場所（ドアノブ・レバー等）は、定期的に消毒すること。
- (4) 利用後は十分（30秒以上）に手洗いを行い、自前のタオルでしっかり拭くこと。
- (5) 手洗い場所には石鹸等の準備を確認すること。
準備が出来ない場合はアルコール消毒液を用意すること。
- (6) 喫煙は決められた場所で行い、他の人との間隔をあけること。（場所によっては人数制限する）

6. 会場・試合準備

- (1) 使用施設の器具・用具を利用する場合は施設の感染症対策基準を順守すること。
- (2) 開催者が準備する器具・用具（ポール・ネット・インディアカボール・フラッグ他）の消毒。
- (3) 消毒時は手袋を着用すること。

7. 開会式

- (1) 三つの密にならないように、開会式前のコート内での練習は禁止とすること。
ただし、試合前に練習時間を確保すること。
- (2) 集合メンバーは最小人数として、前後左右2mの間隔をあけて整列すること。
- (3) 開会式の内容はコンパクトにして15分以内を目標にプログラムを構成すること。
- (4) マイク使用時はマスク着用を徹底すること。

8. 試合

- ※試合終了時の使用用具（インディアカボール、ネット、審判台等）の消毒は担当した審判団で実施し次の審判団に引き渡す。
- (1) 各チーム第一試合前は、5分程度の練習時間を確保すること。（チームのインディアカボール使用）
 - (2) プレー中（練習含む）はマスクを外すことを許容すること。
 - (3) 整列（三つの密にならないように）
 - ① 選手はアタックライン上に間隔をあけて整列すること。
 - ② 線審はプレー中の立ち位置（コート対角）に整列すること。
 - ③ 主審は通常場所（ネットの右側）、副審は通常線審が並ぶ側（ネットの左側）に整列すること。
 - (4) 試合前・後の握手は行わないこと。
 - (5) チーム内でのハイタッチ等の接触は、極力控えてもらうこと。大声も控えること。
 - (6) 主審・副審の飛沫・感染対策
 - ① 主審・副審はマスク又はフェイスガード等を使用すること。
 - ② マスク着用時は電子ホイッスルを使用すること。
 - ③ フェイスガード使用時は、ポールから1m程度離れた位置でホイッスル又は、電子ホイッスルを使用すること。
 - (7) 線審及び得点係の方はマスク着用とすること。
 - (8) 試合及び審判でないチームの方は、観覧席で観戦し、前の試合終了に合わせてフロア内に入ること
 - (9) 観覧席は左右前後1席以上空けて着席すること。観戦時大声での応援は控える事

9.大会開催中の対策

(1) 体育館内の換気

- ①利用施設の感染症対策基準を順守すること。
 - ②窓及び扉の開放が許可された場合は、プレーに支障のない範囲で換気すること。
 - ③午前・午後に各1回（10分程度）及び昼休み時間帯に一斉換気を行うこと。
- (2)床が汗で濡れた場合は利用施設の感染症対策基準を順守すること。
ただ、モップはコロナウィルス拡散の恐れがあるので、ペーパータオル等で拭き取ること。
ペーパータオルは協会では準備するが各チームにも雑巾等を準備して頂くこと。
- (3)扇風機（送風機）の使用は飛沫拡散につながるため、原則使用しないこと。
設置場所により、屋外に向けてのみ使用可とすること。
- (4)トイレ・更衣室・シャワーの使用は利用施設の感染症対策基準を順守すること。
- (5)昼食は利用施設の飲食可能エリアにて間隔を開けるよう注意すること。
利用可能スペースを考慮して、時間帯を分けるなどの配慮も行うこと。
飲食後は利用スペースの掃除及び消毒を行うこと。
- (6)ゴミは必ず持ち帰ってもらうこと。

10.表彰・閉会式・片付け

- (1)開会式と同様に三つの密にならないように集合し、時間を短くするようプログラムすること。
- (2)使用したコート of 器具類は、使用したコート of チームにて消毒・片付けを行うこと。
- (3)使用した観覧席の消毒・片付けは、各チームで使用した範囲の消毒・片付けを行うこと。

11.大会運営について

(1) 試合方法

- ①試合時間が長時間にならないように18点先取の2セットマッチ等時間短縮を図ること。
- ②各コート5チームを理想として配分等を考えること。
- ③参加種目（一般、シニア、スーパーシニア）の混在等も配慮した上で種目を決定すること。

(2) 表彰

- ①表彰等は従来通りで進めることで良いが、なるべく人と人の接触及び接近を控えること。
- ②表彰対象チームの写真撮影等は控えること。（チーム内での撮影等も控えること。）
- ③グループ賞（お楽しみ賞）等を行う場合は、参加者が三つの密にならないに又、大声を出す様な状況が起きないように配慮すること。例：事前抽選で張り出して配布するなど。

(3) 役員の当日参加について

高齢者・医療関係者等コロナ感染時のリスク・影響が特に大きい方は無理な参加はせずに大会関係者全体及び参加チームを含めて運用すること。

12.大会終了後のコロナウィルス感染症発症について

- (1)大会終了後2週間以内に感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告すること。
- (2)コロナ感染に伴う保証は、自己責任に於いて行う物とする。

以上